

報告事項①：2026年度 運営方針と事業計画(具体的な取り組み)

2026年度は、「組織の持続可能性」と「安全・安心の確保」を軸に、以下の6点を重点方針として掲げ、各事業を展開する。

1. 組織体制の見直しを検討する

子ども会を取り巻く環境の変化に対応するため、意思決定機関の最適化を図る。

○具体的な取り組み

- ・ 理事会・正副長会の定例開催による迅速な意思決定と情報共有。
(理事会：5.7.3月 総会：6月 正副長会：月1回)
- ・ 「専門委員会」の開催を検討し、特定の課題（リーダー育成や安全対策等）に対し専門的知見からアプローチする体制を整える。
- ・ ユース・リーダー（シニア・リーダー）の実態把握と再組織化を行い、次世代の運営を担う人材の受け皿を再構築する。
- ・ 育成大会を開催し、子ども会指導者・育成者の研修や情報交換の場等、内容の充実を図る。

2. 財務の見直しを検討する

限られた財源を有効に活用し、事業の費用対効果を高める。

○具体的な取り組み

- ・ 全国、中四国地区の研修会等の顕彰事業、関連団体事業への参加に伴う「旅費・参加諸経費の助成」の範囲と基準を再精査する。
- ・ 各事業の予算配分を見直し、持続可能な組織運営に資する支出を優先する。

3. 広報活動の在り方を検討する

会員や地域住民に対し、子ども会活動の価値をより効果的に届ける手法を模索する。

○具体的な取り組み

- ・ 広報誌『高子連だより』の年1回発行による活動実績の記録と周知。
- ・ ホームページの活用を強化し、タイムリーな情報提供と関係機関とのネットワーク構築を推進する。
- ・ 子ども会活動に必要な情報の収集・整理を行い、現場で役立つ情報発信に努める。

4. 安全共済の加入促進を図る

子どもたちが安心して活動に参加できるよう、万全の補償体制を構築する。

○具体的な取り組み

- ・ 「参加者・指導者全員」の加入を徹底し、未加入者ゼロを目指す。
- ・ 運営の根幹を支える役員の加入も併せて促進する。
- ・ 加入のメリットや手続きの重要性を各単位子ども会・市町村連へ周知する。

5. 実施事業の開催方法・内容・経費の再検討を行う

各事業の内容を時代に即したもののへアップデートし、効率的かつ魅力的な運営を目指す。

○具体的な取り組み

- ・ 「ジュニア・リーダー講習会」の開催、内容充実を図り、子どもたちの意欲を高めるプログラムへ改善する。
- ・ 「緑の少年団大会」、「伝統芸能の保存啓発」など、地域と連携した特色ある連携事業の実施手法を再検討し、参加者の満足度を高める。
- ・ 顕彰事業の推薦プロセスを明確化し、地域の功労者へ適切な評価が届くよう調整する。

6. 安全教育の推進を図る

事故を未然に防ぐ「組織としての安全管理能力」を向上させる。

○具体的な取り組み

- ・安全啓発初級ファシリテーターの養成を加速させ、講習会及び認定審査会を行い、現場の安全指導力を強化する。
- ・市町村連や単位子ども会の研修会へ積極的に講師を派遣し、地域格差のない安全意識の向上を図る。
- ・安全啓発中級ファシリテーター養成の推進と養成講習会への参加者に助成を行い、専門知識を持つ指導者の育成を支援する。

【事業一覧】

○子ども会活動に関する育成・支援事業

- ・ジュニア・リーダー講習会
- ・育成大会
- ・全国、中国・四国地区の研修会に参加する場合の旅費の助成
- ・安全啓発初級ファシリテーター養成講習会及び認定審査会の開催
- ・市町村子ども会連合組織・単位子ども会の研修会等への講師派遣
- ・安全啓発中級ファシリテーター養成の推進と要請講習会の参加者に旅費の助成
- ・安全共済等加入促進（参加者・指導者・役員）

○子ども会活動に関する情報の収集及び提供事業

- ・広報誌『高子連だより』の発行（年1回）
- ・ホームページによる情報提供

○顕彰事業

- ・高知県子ども会連合会市町村子ども会連合組織・功労者の顕彰
- ・中国・四国地区子ども会連絡協議会の顕彰事業への推薦
- ・全国子ども会連合会の顕彰事業への推薦
- ・関係機関の顕彰事業への推薦
- ・表彰式参加者への旅費の助成

○子ども会活動に関する各種会議・集会等の開催事業

- ・総会・理事会の開催
- ・正副長会の開催
- ・部会の開催、専門委員会の開催の検討

○関連団体との連携事業

- ・全国子ども会連合会事業への参加諸経費の助成
- ・中国・四国地区子ども会育成研究協議会等の事業への参加諸経費の助成
- ・青少年育成高知県民会議への参加諸経費の助成
- ・公益社団法人森と緑の会事業との連携

○地域での伝統芸能や伝統行事の保存啓発事業